

様式第2号(第10条関係)

会 議 結 果 の お 知 ら せ

- 1 開催した会議の名称 第4回佐伯市総合計画産業振興社・まちづくり市民会議
- 2 開催日時 令和4年11月18日(金) 19:00～20:20
- 3 開催場所 佐伯市役所 本庁舎 6階 大会議室
- 4 出席者
委 員：梶川里沙、河野辰也、川野幹雄、工藤克史、高野正太、高野隆子、豎山恵子、長尾一生、永田華香、波戸崎孝、藤原映治、村松教雄
オブザーバー：大分県南部振興局 地域創生部長 長谷部貴志
事務局：政策企画課 課長 末永健二、総括主幹 田村英朝、清田甲生
総合計画検討部会員
- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人数 なし
- 7 議題及び結果
(1) 議題 第2次佐伯市総合計画後期基本計画(案)に対する意見等について
(2) 結果 事前配布資料により、事務局が資料説明をした後、質疑応答を行った。
- 8 会議の資料名一覧
(1) 第2次佐伯市総合計画後期基本計画(案)
- 9 問い合わせ先
担当課 総合政策部 政策企画課 政策企画係
電話番号22-4104 内線563

令和4年度 第4回 佐伯市総合計画産業振興・まちづくり市民会議結果について

日 時 令和4年11月18日（金） 19：00～20：20

場 所 本庁舎6階 大会議室

出席者 【委員】

梶川里沙、河野辰也、川野幹雄、工藤克史、高野正太、高野隆子、豎山恵子、
長尾一生、永田華香、波戸崎孝、藤原映治、村松教雄

【オブザーバー】

大分県南部振興局 地域創生部長 長谷部貴志

【事務局】

政策企画課 末永課長、田村総括主幹、清田
総合計画本部会議検討部会員

欠 席 【委員】

小谷晃文、八木仁

【オブザーバー】

(株)大分銀行 執行役員地域創造部長 高橋秀樹

西日本高速道路(株)九州支社 地域共創担当部長 濱野昌志

傍聴者 なし

1 会長挨拶

川野会長が挨拶を述べた。

2 議事

川野会長が議長となり、議事を進行した。

(1) 後期基本計画案について

《主な質疑応答》

政策5 地域資源をいかした産業と観光の創生

施策1 農業の振興《水田農業の振興》

【主な意見なし】

施策1 農業の振興《園芸作物の振興》

【主な意見なし】

施策1 農業の振興《有機農業の推進》

【主な意見なし】

施策1 農業の振興《畜産の進行》

【主な意見なし】

施策1 農業の振興<耕作放棄地対策>

【主な意見なし】

施策2 林業の振興

【主な意見なし】

施策3 水産業の振興

【主な意見なし】

施策4 ブランド化・流通の促進

【主な意見なし】

施策5 商工業の振興<工業の振興>

【主な意見なし】

施策5 商工業の振興<商業・サービス業の振興>

【主な意見なし】

施策5 商工業の振興<産業人材の育成と確保>

【主な意見なし】

施設6 観光産業の振興

《目標指標》

【川野会長】

「観光施設等入込客数」について、例えば消費単価額の向上など、リピーター率が上がると満足して何回も来る。それが達成できれば結果、入込客数が伸びる。道の駅は、住民が使う場合もあり、観光誘客として施策をしても効果が数値に反映されにくいのではないか。

【観光課 田中課長】

消費額の算定については、一度検討している。県が提供する観光消費額の算定式はあるが、本市で使えるのか難しい。指摘のとおり道の駅やよい等、住民の利用が多く、観光客の正確な数字が捉えられているかという点は難しいが、観光客も利用するというところで施設のカウントとしている。

【川野会長】

現地消費だけが観光客なのか。一度佐伯を訪れ、ごまだしを買って美味しかったのでまた買いたい。これは観光客ではないが地域にインパクトを与える消費である。それをキャッチアップできていない部分もあると思うので、5年間調査して、数値の背景もわかっていれば、どうあるべきかをもう少し精査するほうがいいと思う。

道の駅やよい等は、地域の人が買っているリピート商品があることはよい。それを市

民が観光客に美味しいので買ってという部分の消費額と考えれば、それも一つの観光消費ではないか、きちんと数値を選ぶ背景をもう少し精査や磨き上げができないか。

【観光課 田中課長】

意見を踏まえて検討したい。

政策6 人が交流し、活力あふれるまちの創生

施策1 人権を尊重するまちづくり

《目標指標》

【高野隆子委員】

「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに「当てはまる」「どちらかといえど当てはまる」と回答する児童・生徒の割合について、これは何を狙っているのか。

【事務局】

自己肯定感を高めることが大切。子どもが健やかに成長しているかという部分を測る指標として設定している

【高野隆子委員】

自己肯定感が目標とのことだが、これだけでは困難だと思う。

【事務局】

意見を踏まえて担当課と調整したい。

【福祉保健企画課 古川次長】

主な取組ウ（イ）に「性的少数者や子どもの人権を始めとする様々な人権課題に～」と修正している。例示として性的少数者、子どもを挙げているが、他にも高齢者、女性、障がいのある方など様々な人権があるため、例示が適切か委員にご意見を伺いたい。

【波戸崎委員】

細分化して明記してもいいのではないか。

【高野隆子委員】

パートナーシップ宣誓制度は、取り組んでいる市でもまだ1組も宣誓者はいないが、佐伯市でも取り組んでほしい。今回、「性的少数者や子ども人権をはじめとする」という特化について、数えればきりがいい様々な人権がある。そのため、ここは特化しないほうがよいのではないか。

【福祉保健企画課 古川次長】

ご意見を踏まえて検討したい。

施策2 男女共同参画のまちづくり

【主な意見なし】

施策3 市民協働のまちづくり

《目標指標》

【川野会長】

「さいき城山桜ホールを活用したまちづくり団体等の活動件数」について、桜ホールを活用していない、ひとよこい、ピンコロ軒という団体を入れていない理由はあるか。

【地域振興課 成松課長】

桜ホール以外の場所で活動する方も当然いるが、数値を捕捉しにくい。桜ホールが増えれば全体で増えると思込んでいる。様々な団体を支援する中で、桜ホールが今一番使われており、活動件数は年間 700 件を超える。全体を底上げするための一つの目標として桜ホールを数値目標とした。

施策4 「食」のまちづくり

【主な意見なし】

施策5 移住定住の促進

【主な意見なし】

施策6 国際化の推進

《目標指標》

【川野会長】

「中学校第3学年で英検3級相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合」について、国際交流、多様性社会でどうコミュニケーションをとるか考えると、「外国人に対して苦手レベルがない」という目標もいいと思う。ベトナムの方にベトナム語で話しかけるといった、分かる言葉で話しかけることができるような国際化が進むほうが理想ではないか。英検だけ得意でも、外国人と話したことがないということがこの目標指標では起こりうる。

【事務局】

担当課と相談しながら可能かどうか検討したい。

【川野会長】

国際化は言葉より心の壁だと思う。そこのハードルをどう下げるのかという取組だと思っている。

施策7 市民サービスの充実

【主な意見なし】

施策8 新たな地域コミュニティの構築

【主な意見なし】

3 その他

特になし